

全国ろう重複児・者家族連絡会通信

えるで ～大地～

□発行／全国ろう重複児・者家族連絡会

□編集／「えるで」編集委員会

□〒198-0042

東京都青梅市東青梅1-7-4-167

東京ろう重複者とあゆむ会 内

全国ろう重複児・者家族連絡会

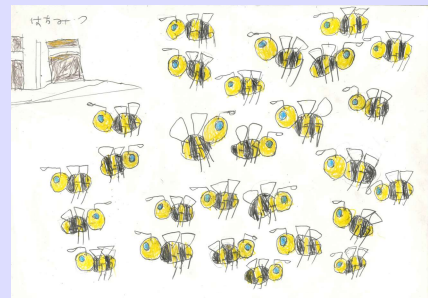
TEL/FAX 0428-22-4068

Eメール：ayumukai.tokyo@gmail.com

★お気軽にお問合せください★

大型連休のゴールデンウィークも終わりました。皆様のおかれましてはどのように過ごされましたでしょうか？旅行に行った、イベントに参加したなど色々と思い出もある事でしょう。

さて、今回の5月号では京阪聴覚障害者センター「けいけい」の開所についての案内と「春里どんぐりの家」の近況報告、「東京ろう重複者とあゆむ会」の近況報告などを紹介します。



「みつばち」

たましろの郷 仲間の作品

京阪聴覚障害者センターけいけいの紹介

京阪聴覚障害者センターけいけいセンター長 中岡 正人



2025年4月1日大阪府寝屋川市に「京阪聴覚障害者センターけいけい」を開所しました。京阪本線萱島駅下車徒歩3分と近く、駅前には手すりやスロープがあり、便利で安全に通えるところです。「けいけい」は建物面積約45坪鉄骨造3階建ての1階部分にあります。

大阪では「けいけい」は「なかまの里」(1994年・熊取町)、「あすくの里」(2005年・羽曳野市)、「あいらぶ工房」(2007年・大阪市)、「北摂聴覚障害者センターほくほく」(2015年・吹田市)「泉州聴覚障害者センターなんなん」(2020年・貝塚市)に続いて6つ目の施設にあたります。

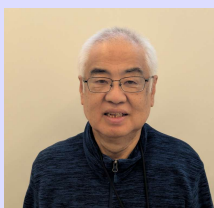


けいけいの外観

2022年から京阪地域のろう重複障害者やろう高齢者の実態調査や建設募金運動などセンターづくり運動を始めました。同時に京阪地区に在住しているろう高齢者を中心に調査運動を始めて、ようやく2025年4月に障害者就労継続支援B型として開所することができました。

実態調査で「けいけい」に望むことを聞いたところ、第1位は「おしゃべりの場」第2位は「通訳」第3位は「仕事」でした。京阪聴覚障害者センター「けいけい」の運営コンセプトは「Third Place(サードプレイス)」。

自宅に帰る前に軽い息抜きができる場所、リフレッシュや新たなやる気を育む、交流のある場所、居心地のよいカフェのような空間・雰囲気作りです。



中岡氏

祝！開所



いつでもコミュニケーションにストレスを感じることなく、おしゃべりができて達成感、充実感のもてる作業支援に努めたいと思っています。

また、センターには急変を知らせるナースコールの他に作業の開始、終了や来客を知らせるランプなど整備しています。加えてトイレに体調不良等で出てこれなくなった事を知らせてくれる人感センサーも設置しました。

作業はコーヒー焙煎を目玉に軽作業（切手、仕分け）、自主製品づくりに取り組んでいます。生豆を仕入れて焙煎してコーヒー豆を販売します。コーヒー焙煎はおそらく聴覚障害者施設としては初めての試みです。全国でも全国の先駆けとなれるように頑張ります。



珈琲豆焙煎機



切手貼り

「けいけい」は、①「主人公は利用者」の理念で見通しを持ったメリハリのある生活を保障し、豊かな活動を通して地域で生き生きと暮らす力を養います。②「コミュニケーションの保障と聴覚障害者集団の保障を土台に自立、自律、社会参加の促進をめざします。③利用者とその家族、関係者の願いに応える、地域に根差した市民とともに歩むセンターをめざします。④聞こえない人の暮らしと権利を支えるネットワークづくりをめざします。京阪地域の皆さんに頼りにしてもらえセンター運営に努めます。ぜひ温かく見守ってください。



「春里どんぐりの家」の近況と「ひとつ星・おおみや（仮称）」について

春里どんぐりの家所長 金田 友美



埼玉県さいたま市にあります『春里どんぐりの家（以下、春里）』は、開所し 21 年目になりました。定員 20 名の生活介護と就労継続 B 型の多機能型事業で、現在 19 名の仲間と、授産活動や自治会活動をおこなっています。

仲間や家族の高齢化、障害の重度化に対応するため、平成 24（2012）年と令和 2（2020）年にそれぞれ定員 6 名の、グループホーム『オハナハウス』、『マハナハウス』を開所し、生活の場を拡充しました。仲間ひとりひとりのニーズに合わせて、医療や介護保険、行動援護など地域の関係機関と連携をしながら、春里がバックアップ施設としての支援体制を整え、運営を行っています。

春里の最寄り駅「東武アーバンパークライン七里駅」では、さいたま市土地区画整理事業が平成 14（2002）年から始まり、春里も換地の区域に入っています。仲間たちと、新築でエレベーター付きの立派な建物に建替え、授産事業にも新しい取り組みを取り入れたいと話しながら、換地の時期を今か今かと待ち構えています。気が付いたら 20 年を過ぎており、未だに換地の時期は未定です。

昨年は、「春里どんぐりの家 開所 20 周年記念集会」を開催しました。法人の理事長や「ふれあいの里・どんぐり」の仲間や職員、地域の聴覚障害関係者の方々、春里に手伝いに来てくださるボランティアのみなさんなど、総勢 81 名が集まってくださいました。

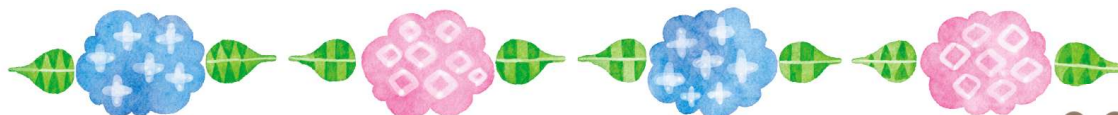
式典は仲間たちが進行し、開会の挨拶には、10 年前の「開所 10 周年のつどい」で、生い立ちを語った思い出事や今の活動の様子を報告したり、「生い立ちを語る part2」のテーマで 3 名の仲間が講演をしました。



参加者の皆さんと一緒に楽しく過ごすことができ、たくさんの方々に支えられていることを実感するとともに、これからも頑張ろうと思える集会になりました。

また、平成 19（2007）年度から開催された後援会主催の「埼玉の聴覚障害児・者のくらしを考える集会」の議論の中で、法人として事業展開することとなった「聴覚障害児支援」は平成 26（2014）年度から準備委員会を発足し、平成 29（2017）年に 1 つ目の「ひとつ星・さかど」を開所しました。昨年度から、大宮ろう学校の在校生の保護者からのニーズを受け、2 つ目の「ひとつ星・おおみや（仮称）」の開所に向け、準備委員会を立ち上げ、どのような事業を始めていくのか話し合いを始めました。保護者向けのアンケートを実施し、今のニーズがどのようなものなのかを改めて調査し、具体的な準備を進めていきたいと思っています。

新しい事業「ひとつ星・おおみや（仮称）」が開所することとなった時には、改めて報告させていただきたいと思います。



あゆむ会の 2024 年度の活動と近況

東京ろう重複者とあゆむ会会長 岡部 和美

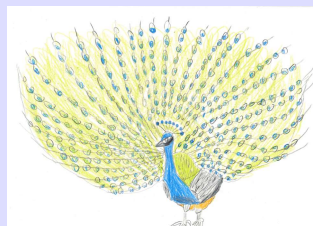


私達の「東京ろう重複者とあゆむ会（以下 あゆむ会）」は、在校生の家族・地域で生活する仲間の家族、障害者支援施設「たましろの郷」を利用する仲間の家族・仲間を応援して下さる支援者の方々の会です。昨年度は正会員 48 名 賛助会員 111 名 団体会員 9 団体の会員数でした。以下、昨年度の活動をご報告させていただきます。

「あゆむ会」では、社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会が運営する「学童クラブかたつむり」に委託して「青年クラブ」をおこなっています。「青年クラブ」は、学校を卒業した仲間を対象とした月 1 回の余暇活動で、沢山のボランティアさんのご協力で開催できています。2024 年度も予定通り 9 回実施することができました。都内外の散策や外食や買い物、色々な施設の見学や体験、調理などで仲間の沢山の笑顔を見ることができました。しかしながら、仲間の体力差等が出てきており「青年クラブ」の開催方法について検討の必要性を感じています。

「親亡き後」も仲間の余暇活動として是非とも継続させたいと考えており、今年度は多方面の方々との具体的な話し合いをしていかなければと思っています。

また昨年から取り組み始めた 2 回目となる「親子バスツアー」は、山梨県立科学館とぶどう狩りに出かけました。参加者は小学 3 年生～80 代の親と幅広い年齢層で総勢 37 名。楽しい一日を過ごすことができました。小学部の若いお母さんからは「初めての親子でのバス旅行で先輩ママさんの貴重なお話も聞けてとても楽しかったです」、「科学館を楽しみ、娘は初めてのぶどう狩りに大喜びで沢山の仲間から刺激を受けて生き生きと過ごせた一日でした」等々。うれしい感想も頂き、私達役員もとてもうれしかったです。



「クジャク」



「バク」

たましろの郷 仲間の作品

コロナ禍も落ち着き、昨年度は5年ぶりに対面での総会も開催することができました。やはり実際に集まっての懇談は大切で不可欠と実感する時間となりました。

「あゆむ通信」も年6回発行し、240号を迎える事ができました。「青年クラブ」の様子や3ページ目の紙面「fam コーナー」には家族やご支援くださる皆さまの仲間への想いを綴って頂きました。



近年、残念ながら家族や仲間の高齢化や福祉サービスの多様化により会員も減少してきておりますが、「仲間も親も居場所や仲間が必要」の思いを忘れずに今年度も役員一同、頑張っ活動していきたいと思ひます。皆様、応援よろしくお願ひ致します。



「クマ」



「モンチッチ」

たましろの郷 仲間の作品

【事務局から】

<2025 年度総会について>

○開催日時：2025 年6月29日（日）13時00分～16時30分

○開催場所：静岡県浜松市福祉交流センターギャラリー43（4階）

正委員の方には後日総会案内をメールまたは郵送を致します。



【2025 年度会員加入状況】 ※2025 年5月20日現在
正会員（個人23／団体1） 賛助会員（個人1名／団体1）

<2025 年3月21日～5月20日に入会いただいた方>

竹原愛 山口慎一 高橋恵子 石田幸子 あいらぶ家族会

大橋篤子 谷内園子 吉田洋子 池田裕美 原幸子

たましろの郷家族部会

（敬称略）

※2025 年度も引き続き、会員入会（新規・継続）のご協力をよろしくお願ひいたします。

【入会のご案内】

郵便振替：口座記号 10100 口座番号 25727111

口座名義：全国ろう重複児・者家族連絡会

年額会費：個人正会員一口2,000円 個人賛助会員一口1,000円

団体正会員一口5,000円 団体賛助会員一口3,000円

〒198-0042

東京都青梅市東青梅 1-7-4-167 全国ろう重複児・者家族連絡会事務局

TEL/FAX:0428(22)4068

e-mail:ayumukai.tokyo@gmail.com

【青梅の里から】

一日の寒暖差が大きく疲れを感じますが、気持ちを引き締めて日々過ごしています。各地域や施設では、様々な活動や取り組みが行われ家族・仲間同志が共有してよい経験や体験をしています。一人ひとりが繋がり輪が広がって、ひとりぼっちが少なくなりますようにと思っています。温暖化の影響か四季がはっきりせず戸惑うこともあります。皆さん免疫力をつけて体調を崩さないように気をつけて下さい。

吉田洋子



レイアウト編集：宮 由美
（とちぎ“ひびきの会”）